

五中・夢バトン

豊中市立第五中学校
学校だより
令和6年(2024年)
1月26日
発行 校長 六嶋 明宏

★『春』はもうすぐそこ

もうすぐ……

ともに最後の『仕上げ』に向かおうぜ！

毎年、私にとって箱根駅伝でスタートする新年、(残念ながら母校は16位)はやいもので、もう1ヶ月が経とうとしています。

始業式で皆さんは元気いっぱいの姿を見せてくれました。(心なしか少し大人になったような気が……)

3学期は一番短く、あっという間に過ぎていきます。したがって、「時間」を大切に使うとともに、どのようにクラスや学年を締めくくっていくのかが大きなポイントとなります。

一人ひとりが自分自身の役割を自覚し、クラスや仲間のために何をすべきか、どんな行動をとるべきかをよく考え、悔いを残さず「このクラスで良かった」と心から思えるよう学校生活を充実させてほしいものです。そのために、3学期はクラスの仲間と積極的にコミュニケーションを取りましょう！

そして、いよいよ2週間後、3年生は私立高校等の入学試験に挑みます。

この時期は、特に感染予防や体調管理に気をつけて、これまで積み重ねてきた努力を信じて、精一杯力を発揮してくれることを願っています。

また、2月20日・21日は公立特別選抜、3月11日は公立一般選抜入試とまさに正念場の1ヶ月、みんなで義務教育最後の試練に立ち向かっていきましょう！

1・2年生は約1ヶ月後に今年度最後の定期考査となる「学年末テスト」があります。1年間積み重ねた実力を十分に発揮し、次の学年につなげるためにも、最高の頑張りを期待しています！



★『ありがとうを歌う会』全学年3月5日(火)

クラスの「団結」と学年の「絆」= 感謝を込めて

そろそろ音楽室から素敵な歌声が聞こえてくることと思います。

校舎内に響きわたる歌声は、年度の終わりを実感させてくれます。

各クラス、各学年の合唱からは、それぞれの1年間の取り組みやドラマ、想いや願いが皆さんから届けられます。

この1年間、学校生活のさまざまな場面で、ともに学び、ともに育ち、ともに支えあったり、



時にはトラブルがあったり、たくさんの思い出ができたことでしょう。

そして、それぞれの場面には、自分の姿とともに多くの仲間や出会った人たちの存在がありました。



「ありがとうを歌う会」では、支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを込めて、一人ひとりみんなの想いを合唱で表現してください。

体育館に響くみなさんの素敵な合唱によって、さわやかな感動と五中生の絆を分かち合えることを心から楽しみにしています！

「ありがとうを歌う会」の実施目的

- ① 合唱する喜びを味わおう。
- ② 合唱をとおしてクラスでの互いのかかわりを深めよう。
- ③ 他のクラスの合唱を鑑賞し良い点を学び合おう。
- ④ 3年生の卒業を祝い、これまで学校のために先頭になって活動してくれたことに感謝の気持ちを表すとともに、在校生が3年生の活動を受け継いで、来年度への活動の意欲を高めよう。



★児童養護施設「^{つばさ}翼」

支え合い、つながり合える学校・地域をめざして！

昨年も紹介がありましたが、2018年1月、五中校区の宝山町に児童養護施設「翼」が開設され、6年が経ちました。

児童養護施設とは、保護者等が何らかの事情で家庭での養育が困難である場合、家庭に代わって24時間、365日養育するための生活施設です。また、児童福祉法という「児童」とは、満18歳に満たない子どもを指します。

現在、児童養護施設は全国に約600か所あり約30,000人の児童が生活し、大阪府では約40か所に約2,000人の児童が生活しています。「翼」は豊能地区で初めてできた施設で定員は24

名、「翼」で生活する子どもたちは、校区として小学生は克明小、中学生は第五中へ通います。家庭で経験することを「翼」での生活を通して積み重ね、すべての子どもたちが「自立」した生き方を身につけるために学んでいます。

学校や地域において、子どもも大人も、お互いが支え合い、つながり合える仲間づくり、安心できる居場所づくりを進め、みんなで助け合える社会をつかっていきたいものですね！

